

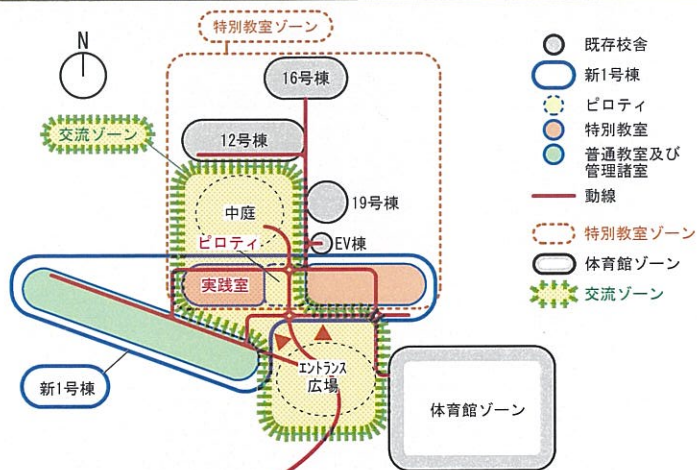
「社会で活躍する人材育成の場として、生徒の創意工夫を引き出す施設づくりのあり方」及び「地域の高等学校としてふさわしいランドマークのあり方」についての提案

○「見る・見られる」事で学び成長できる、地域に開かれ貢献出来る教育施設をつくります

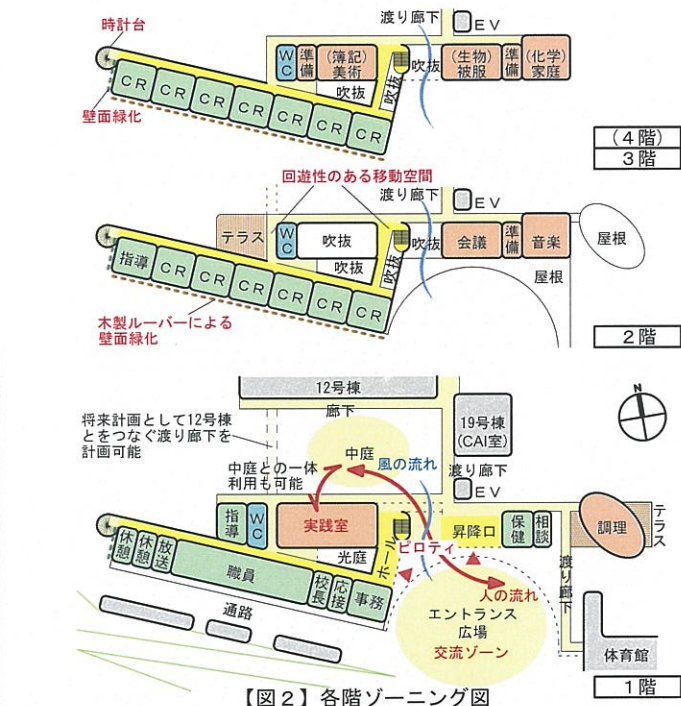
○商業科専門校としての特色と、既存カリキュラムを通して、「商い」を実践的に学ぶ姿を「見る・見られる」事が中心となる、**楽しみながら学び成長できる教育施設**を提案します。

○地域の景観的・心理的な象徴として、先導的な役割を担う象徴として、地域になじみ地域の拠点となる**ランドマーク**としての、身近な公共施設を提案します。

●これらの提案を元に、福山商業高校が、地域との「交流」を通して、社会で活躍する人材を送り出す、**地域の拠点**(＝ランドマーク)となる建物をつくります。



【図1】敷地全体のゾーニング



【図2】各階ゾーニング図



【図3】

【図4】

【図5】

【図3】遠景イメージ
【図4】エントランス広場イメージ
【図5】実践室イメージ

○「社会で活躍する人材育成の場として、生徒の創意工夫を引き出す施設づくりのあり方」について

① 地域に開かれた「交流ゾーン」、回遊性のある「移動空間」

■「商い」の原点である「人と人とのつながり」を意識するための、色んな交流が生まれる「交流ゾーン」を提案します。

・学校の顔として、明るく港のような賑わいのある「エントランス広場」を計画します。【図4】【例1】

・吹抜けのある「ピロティ」、賑わいのある広場や、開放感のある既存の中庭など、生徒たちが楽しみながら、ここで可能な行事等を考える中で、**新しい発想や、創意工夫**が引き出せるような空間を目指します。【図1】



【例1】港のイメージ

■新1号棟の管理・普通教室は敷地南側通路と平行に、特別教室は既存の校舎群と平行に配置します。これらをつなぐ「移動空間」を、商店街やショッピングモールの様な、**異索性・回遊性**のある空間として提案します。【図2】【例2】



【例2】回遊性のある移動空間の例

・吹抜けを通して校内の様子を感じ、**他学年同士の交流**が生まれやすい「移動空間」を目指します。【例2】

・来校者を迎えるホールは、校内の生徒の活動が感じられる、吹抜けのある空間として計画します。

・このような「移動空間」を通して、生徒たちが、普段から「見る・見られる」事で、常に周りを意識し、好奇心を高め、**協調性を持つ心**が育つような、施設づくりを目指します。

③ 多様化する学習環境への対応

■常に先進的な教育実践に取り組めるように、時代に即応できる更新性・可変性の高い、**地域に長く貢献**できる教育施設を提案します。

・**スケルトンインフィル**の考えより、教室間の壁は乾式の間仕切り壁を採用し、将来の改修や、可変性の高い構造計画とします。

・校内LANやLANの無線化等、ICT環境の構築に配慮し、将来の情報機器の発達や更新にも対応できる計画とします。

・ライフサイクルコストの縮減に配慮し、長く地域に貢献出来る教育施設を目指します。

② ショールームのような「実践室」

■生徒たちが、普段から「見る・見られる」事に慣れ、学び成長する為のショールームのような「実践室」を提案します。

・商業教育を**体験的・実践的**に学ぶ「場」を、生徒や来校者が「見る・見られる」ように、「交流ゾーン」の中心に「実践室」を計画します。【図1】【図5】

・「見られる」事に慣れる様、ガラス張りのショールームのような、2層吹抜けの空間として計画します。【例3】【例4】



【例3】



【例4】

・3年生が、「見られる」中で学ぶ事で、緊張感を持ち、「社会の一員(＝常に見られる)」として必要な自覚や、物おしせず**積極的に挑戦する心**が身につく空間を目指します。

・1、2年生は、先輩の学び姿を「見る」中で、基礎教育の延長にある、実践的な授業に興味を持ち、日頃の**学習意欲が向上**する空間を目指します。

・来校される方は、実践的に学ぶ姿を「見る」中で、生徒像や、地域の商業科専門校の役割や大切さを身近に知る事が出来る空間を目指します。

【例3】2層吹抜けの実践室例

【例4】ガラス張りの教室例

④ 末永く愛され、親しまれる教育施設

■地域の商業科専門校として、今後も地域社会から愛され親しまれる教育施設を提案します。

・新1号棟は、特別教室群と管理普通教室群を、明快なゾーニングで分けることで、生徒たちが効率よく利用でき、また既存校舎を含めた「特別教室ゾーン」、「体育館ゾーン」を日頃から地域に開放し、地域の「生涯学習の場」とする事も可能となります。【図1】

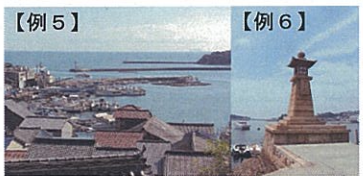
・吹抜けや開放感のある教室など、生徒だけでなく保護者にとっても**安心で安全**な、明るく清潔感のある末永く愛される教育施設を目指します。

○「地域の高等学校としてふさわしいランドマークのあり方」について

① 地域の「景観的」なランドマークをつくります

■地域の「目印」となる、**地域特性に配慮**(集落的都市景観)した、地域の「景観的」なランドマークを提案します。

・川辺や海辺で人々の生活が営まれてきた、瀬戸内海の港に面する集落的な景観は、福山の伝承すべき文化的、地域的な特性のある「**原風景**」と捉えます。



【例5】瀬戸内海の集落
【例6】常夜燈

・このような賑わいのある集落形態を、敷地全体が「集落」と考え、広場(＝港)や回遊性のある移動空間(＝路地)などを、配置・平面計画に取り入れ、この地域ならではの建物を計画します。【例5】【例6】



【例7】屋根のある外観イメージ

・新1号棟の管理・普通教室棟は、**屋根のある景観**を意識し、近隣や、集落的な景観との調和を図ります。【例7】

・少し西に傾いた普通教室南面には、西日対策を兼ねた人工木による縦型ルーバーを用い、西日を遮りながら、芦田川流域に生息する「**芦**」を連想させる、柔らかな表情を持った建物を計画します。【例8】



【例8】ルーバーのイメージ

・西側の階段は「**塔状**」とすることで、形態的な象徴性と、生徒たちが社会に出る前に、「**時間**」を大切にすることを意識する象徴として、「**時計台**」を計画します。【図3】

・中庭に面する北側の廊下は開放廊下とし、ラーメン構造のデザイン等、既存校舎群との形態的・機能的な調和を図り、芦田川大橋や、鞆に向かう県道から望む、「**敷地全体の統一感**」に配慮します。【図3】

・市の景観計画、既存校舎群との調和を意識し、白系や淡い色調、素材色の採用などにより、威圧感のない落ち着いた親しみのもてる建物を計画します。

② 地域の「心理的」な拠点となるランドマークをつくります

■地域交流の場、防災の場といった、地域の公共施設として、「**心理的**」な拠点(拠り所)となる、**ランドマーク**を提案します。

・バザー等、「商い」につながる行事等を、地域の方や地元企業等と共に行い、地域の**交流拠点**となる公共施設を計画します。【例9】

・日頃から地域との接点を増やし、**開かれた施設**とすることで、災害時の避難施設として貢献できる施設を計画します。



【例9】地域交流のイメージ



【例10】壁面緑化の例

・改修予定の19号棟「CA1室」等、情報機器を多く備える商業高校の特長を活かし、災害時には「**空間**」や「**備蓄物**」の提供以外に、罹災地域の**情報発信拠点**として利用できる計画とします。【図2】

・災害時には、体育館近くに炊き出し等に利用できる調理室、「交流ゾーン」に面し情報端末を備えた「実践室」や「CA1室」等が、一体的に利用でき、**避難施設**としての機能を発揮し、地域に貢献できる公共施設を目指します。【図2】

③ 地域の「先導的」なランドマークをつくります

■省エネ化、木質化やユニバーサルデザインの徹底等により、環境や景観及び安全性への積極的な配慮を視覚的にアピールする、地域にとっての「**先導的**」で長く使用できる、**ランドマーク**を提案します。

・普通教室の、西面や木製ルーバーを取付けた南面は「**壁面緑化**」による、日射量の低減が可能としています。【例10】

・遮熱、断熱塗料や、開口部における複層ガラス、壁面緑化などの採用により、**断熱性、遮熱性の高い建物**とする事で、熱負荷の低減を図ります。

・太陽光発電の採用など、積極的な**自然エネルギー**の利用を目指します。

・内装材は改修部分も含め、積極的な**県産材**による「**木質化**」を目指します。

・バリアフリー化をはじめ、**ユニバーサルデザイン**を徹底し、「**安全・安心**」して利用できる公共施設を目指します。